



10月9日(出雲駅伝)、11月5日(全日本大学駅伝)に、開催されたオンライン応援&パブリックビューイングの様子。仲間の力走を真剣なまなざしで見守る長距離ブロックメンバー



テレビ中継の傍らリアルタイムで解説を行う 中大選手がスクリーンに映し出され、大きな拍手と声援を送る会場

第35回出雲全日本大学選抜駅伝競走 結果

10月9日(月・祝)、第35回出雲全日本大学選抜駅伝競走が出雲大社正面鳥居前～出雲ドーム前(6区間/45.1km)で開催され、2年連続27回目の出場となった中央大学は2時間12分17秒で7位となりました。箱根駅伝、全日本大学駅伝とともに三大駅伝の一つに数えられる出雲駅伝で、「再び動かす真紅の歴史」をスローガンとして練習を積み重ねてきた選手達が秋の出雲路を力強く駆け抜けました。

| 順位 | 大学名 | 総合成績 | 区間 | 距離 | 選手名(学部・学年) | 記録 |
|----|-------------|----------------|----|--------|------------|---------------|
| 1 | 駒澤大学 | 2:07:51 | 1区 | 8.0km | 浦田 優斗(経3) | 24'10" 区間 13位 |
| 2 | 創価大学 | 2:09:34 | 2区 | 5.8km | 中野 翔太(法4) | 16'39" 区間 6位 |
| 3 | 城西大学 | 2:10:35 | 3区 | 8.5km | 吉居 駿恭(法2) | 25'43" 区間 11位 |
| 4 | 國學院大學 | 2:11:07 | 4区 | 6.2km | 阿部 陽樹(文3) | 17'54" 区間 5位 |
| 5 | 青山学院大学 | 2:11:28 | 5区 | 6.4km | 溜池 一太(文2) | 18'24" 区間 3位 |
| 6 | 早稲田大学 | 2:11:36 | 6区 | 10.2km | 湯浅 仁(経4) | 29'27" 区間 2位 |
| 7 | 中央大学 | 2:12:17 | | | | |

藤原正和監督コメント

2大会続けて出雲の地を走らせて頂きました。

結果は7位と目標からは遠く及ばない結果となりましたが、エースの吉居大和抜きで戦うと決めた中、勝てるオーダーを考えた時にチャレンジなオーダーにしないと勝てないことは皆理解していました。1区の浦田で出遅れてしまいましたが、これは彼の責任ではなく指揮官の私にあります。2・3区での挽回が上手く機能しなかった事が一番の課題となりました。後半区間は中大らしい粘りの駅伝が出来ましたので、もう一度全体の立て直しを図り、二度とこのような事が無いよう戦って参ります。

優勝を目標にしていますが、駒澤大学の完成度の高さには圧倒的に届いておらず、相手との差を感じる駅伝でした。残された時間はあまり多く有りませんでした、できるだけ策を講じ全日本に向けて日々を過ごしました。

第35回出雲全日本大学選抜駅伝競走 写真提供:月刊陸上競技/「中大スポーツ」新聞部/中央大学コープスタジオ ※記事本文中写真を含む



出雲・全日本・いざ箱根へ！

秩父宮賜杯 第55回全日本大学駅伝対校選手権大会 結果

11月5日(日)、秩父宮賜杯 第55回全日本大学駅伝対校選手権大会が、名古屋・熱田神宮～伊勢神宮内宮宇治橋前(8区間/106.8km)で開催されました。全国8地区の代表25校、オープン参加の日本学連選抜チームおよび東海学連選抜チームの全27チームが大学駅伝日本一を目指しました。3大会連続30回目の出場となった中央大学は5時間12分49秒で4位となり、上位8チームに与えられるシード権を3年連続で獲得しました。

| 順位 | 大学名 | 総合成績 | 区間 | 距離 | 選手名(学部・学年) | 記録 | |
|----|--------|---------|----|--------|------------|--------|-------|
| 1 | 駒澤大学 | 5:09:00 | 1区 | 9.5km | 吉居 駿恭(法2) | 27'22" | 区間 3位 |
| 2 | 青山学院大学 | 5:12:34 | 2区 | 11.1km | 中野 翔太(法4) | 31'32" | 区間 6位 |
| 3 | 國學院大學 | 5:12:39 | 3区 | 11.9km | 吉居 大和(法4) | 34'33" | 区間11位 |
| 4 | 中央大学 | 5:12:49 | 4区 | 11.8km | 溜池 一太(文2) | 34'32" | 区間 3位 |
| 5 | 城西大学 | 5:17:23 | 5区 | 12.4km | 本間 颯(経1) | 36'38" | 区間 5位 |
| 6 | 創価大学 | 5:18:21 | 6区 | 12.8km | 吉中 祐太(文2) | 37'58" | 区間 4位 |
| 7 | 大東文化大学 | 5:19:21 | 7区 | 17.6km | 湯浅 仁(経4) | 51'12" | 区間 2位 |
| 8 | 東京国際大学 | 5:20:05 | 8区 | 19.7km | 阿部 陽樹(文3) | 59'02" | 区間 4位 |

藤原正和監督コメント

駒澤大学とできるだけ接戦を演じ、3位表彰台を確保することを目標に今大会に挑みました。結果は4位ということで、残念ながら表彰台には一步及びみませんでした。出雲で出た課題に関してはしっかりと修正してこられたと考えております。

1・2区の吉居駿恭と中野翔太で先頭と30秒差と考えていましたので、想定内で来てくれました。3区の吉居大和で逆転をと考えていた中、上手く走れず後退。しかし4～6区の溜池一太・本間颯・吉中祐太で立て直せたところにチームとしての成長を感じました。7区の湯浅仁・8区の阿部陽樹の走りが中大の伝統の走りですので、これを箱根路に必ず繋げて参ります。

これまで吉居大和に頼ってきたチームが、今回は逆に彼を救いました。これこそが駅伝であり、チームスポーツです。またこの失敗から吉居大和も学び、成長して箱根では活躍してくれることと思います。

チーム全体で、もう一度戦う覚悟を高め、一丸でやって参ります。

いざ箱根駅伝へ！第100回東京箱根間往復大学駅伝競走

■東京・読売新聞社前～箱根芦ノ湖間往路5区間(107.5km)、復路5区間(109.6km)の合計10区間(217.1km)で競う

■往路：2024年1月2日(火) 復路：2024年1月3日(水) (往路、復路とも午前8:00スタート)

藤原正和監督コメント

いよいよ第100回箱根駅伝が近づいてきました。

今は学内選考の真只中にあり、日々を緊張感高く選手たちは過ごしています。

ここまで出遅れていた山平怜生や白川陽大、伊東夢翔が戻ってきてくれる事、また1年生がどれだけ台頭してきてくれるかにも注目しています。今年も16人の選考は激戦であり、誰にもチャンスがあります。4回しかないそのチャンスを、全力で掴みに行ってくれればと思います。

エース格の選手達の足並みをしっかりと揃え、中央大学のレースをできるように準備いたします。

第55回全日本大学駅伝 写真提供：月刊陸上競技

